

HandyDrive

ハードディスク フォーマット ツール

Version 3.21 日本語版

ユーザーズガイド

Copyright 2005-2008 FUJITSU LIMITED All rights reserved.

ご使用になる前に必ず「【5】ご使用にあたって」をお読みください。

目次

【1】はじめに.....	2
1.1 ハードディスク フォーマット ツールについて.....	2
1.2 動作環境.....	2
1.3 インストール・アンインストール.....	3
【2】使い方.....	9
2.1 起動.....	9
2.2 メイン画面の説明.....	13
2.3 出荷時の状態に戻す.....	15
2.4 パーティションの削除.....	17
2.5 論理フォーマット (FAT32).....	21
2.6 終了.....	26
2.7 バージョン情報の表示.....	28
2.8 ユーザーズガイドの表示.....	29
【3】注意事項 および 制限事項.....	30
【4】お困りの場合.....	33
4.1 動作について.....	33
4.2 用語集.....	34
【5】ご使用にあたって.....	35
5.1 使用許諾条件.....	35
5.2 「ハイセイフティ用途」について.....	35
5.3 表記について.....	35

【1】はじめに

1.1 ハードディスク フォーマット ツールについて

ハードディスク フォーマット ツール（以下、本ソフトウェア）は、HandyDrive のパーティション(*)やフォーマット(*)を工場出荷時の状態に戻したり、複数のパーティションに分割またはパーティションの削除を行ったりすることができる Windows 用ソフトウェアです。

【ご注意ください】

パーティションの変更、削除あるいはフォーマットを行うとハードディスク内のデータは失われます。
本ソフトウェアのご利用にあたっては十分にご注意ください。

その他の注意事項および制限事項については、「【3】注意事項 および 制限事項」をご参照ください。

また、*の用語については、「【4】お困りの場合」をご参照ください。

1.2 動作環境

本ソフトウェアは、以下の環境で動作いたします。

●対象OS

- ・ Microsoft (R) Windows Vista (TM) Ultimate
- ・ Microsoft (R) Windows Vista (TM) Enterprise
- ・ Microsoft (R) Windows Vista (TM) Business
- ・ Microsoft (R) Windows Vista (TM) Home Premium
- ・ Microsoft (R) Windows Vista (TM) Home Basic
- ・ Microsoft (R) Windows (R) XP Home Edition
- ・ Microsoft (R) Windows (R) XP Professional
- ・ Microsoft (R) Windows (R) 2000 Professional
- ・ Microsoft (R) Windows (R) Millennium Edition
- ・ Microsoft (R) Windows (R) 98 Second Edition

- 注) - 上記は全て日本語版です。
- 本ソフトウェアは 32 ビットアプリケーションです。64 ビット OS における動作は保証しておりません。

●対象装置

富士通製 HandyDrive

- 注) - Windows 98SE でお使いの場合
本ソフトウェアは、Windows 98SE に対応していない HandyDrive には使用できません。
- Windows Me でお使いの場合
本ソフトウェアは、Windows Me に対応していない HandyDrive には使用できません。

1.3 インストール・アンインストール

・インストール手順

【ご注意ください】

フォーマットツール旧版をインストールした状態で OS をアップグレードした場合、アップグレード後の OS における動作は保証できません。
OS をアップグレードする場合には、アップグレード前にフォーマットツールをアンインストールし、OS をアップグレードした後に本ソフトウェアの最新版を再インストールしてください。

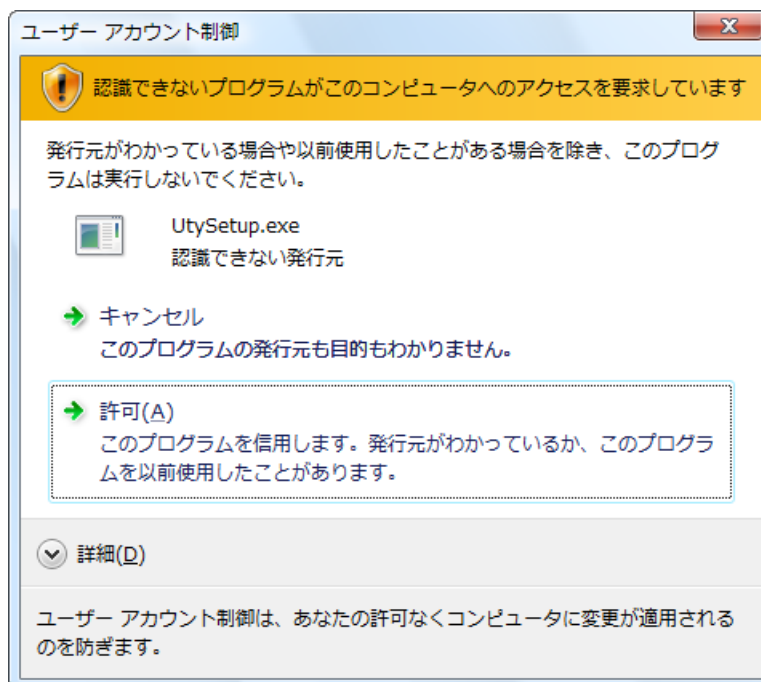
フォーマットツール旧版をお使いの場合は、本ソフトウェアをインストールする前にフォーマットツールをアンインストールしてください。
アンインストール手順についてはこの章の「アンインストール手順」をお読みください。

ハードディスク フォーマット ツールは、以下の手順でインストールしてください。

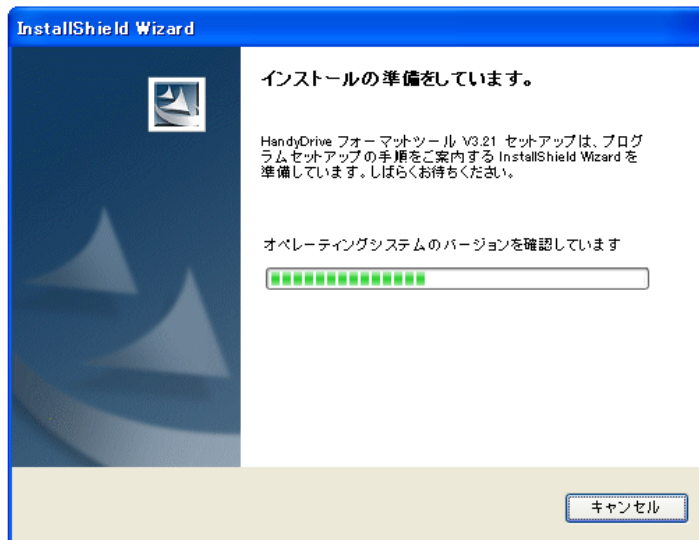
- (1) Windows Vista、Windows XP または Windows 2000 Professional をお使いの場合、管理者権限を持つアカウントでログオンしてください。
- (2) UtySetup.exe をダブルクリックし、インストールを開始してください。

※ Windows Vista、かつユーザーアカウント制御が有効である場合

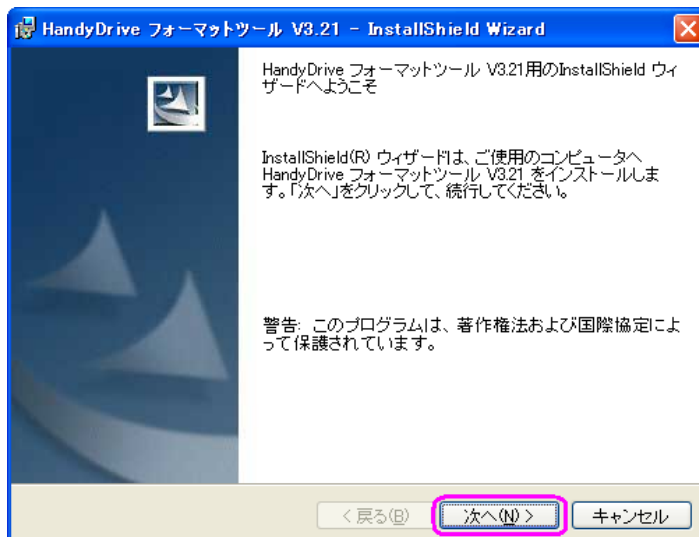
以下の画面が表示されますので、[許可(A)] をクリックしてください。



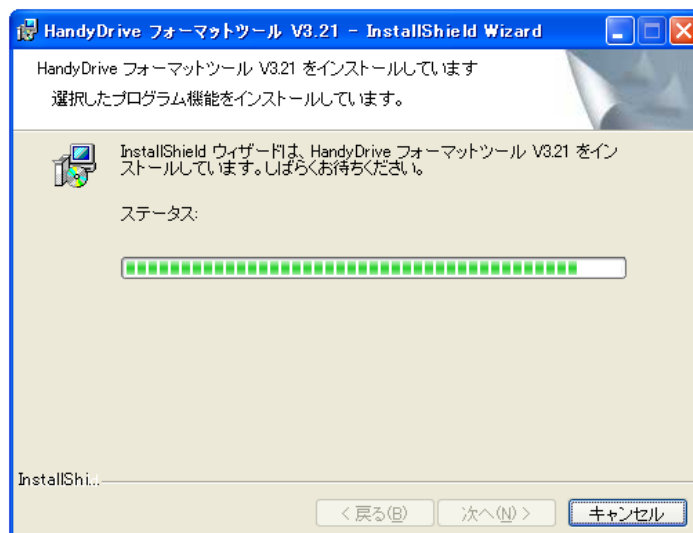
- (3) 「インストールの準備をしています。」の画面が表示されます。



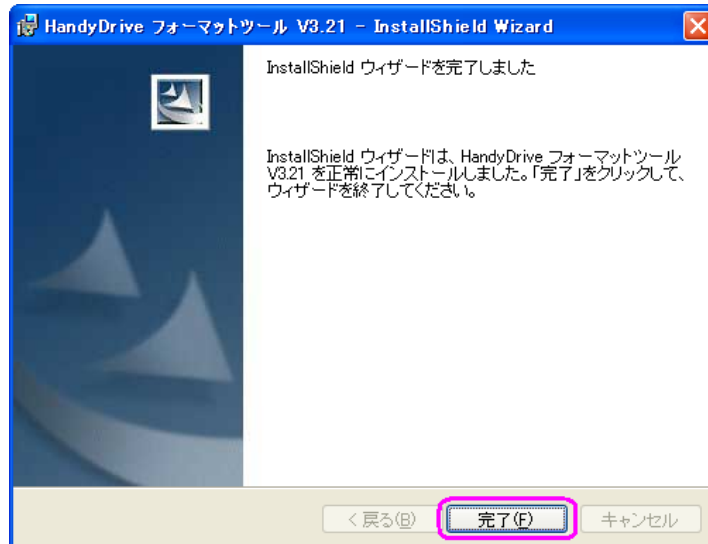
- (4) インストールの準備が完了すると「HandyDrive フォーマット ツール V3.21 用の InstallShield ウィザードへようこそ」の画面が表示されますので、[次へ(N)] をクリックしてください。



- (5) インストールが開始され、「HandyDrive フォーマットツール V3.21 をインストールしています」の画面が表示されます。



- (6) インストールが完了すると「InstallShield ウィザードを完了しました」の画面が表示されますので、[完了(F)] をクリックしてください。

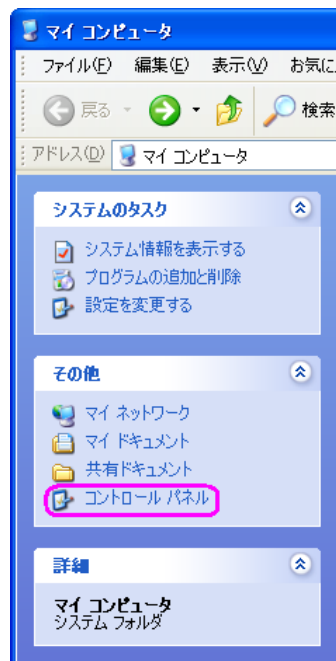


- (7) 以上でインストールは完了です。

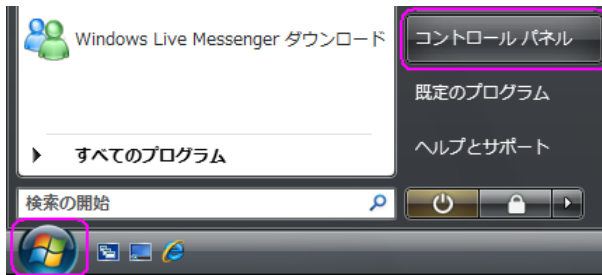
・アンインストール手順

ハードディスク フォーマットツールは、以下の手順でアンインストールしてください。

- (1) Windows Vista、Windows XP または Windows 2000 Professional をお使いの場合、管理者権限を持つアカウントでログオンしてください。
- (2) [マイコンピュータ] を開き、[コントロール パネル] をクリックしてください。
([コントロールパネル] は、[スタート] - [設定] - [コントロールパネル] から開くことができます。)



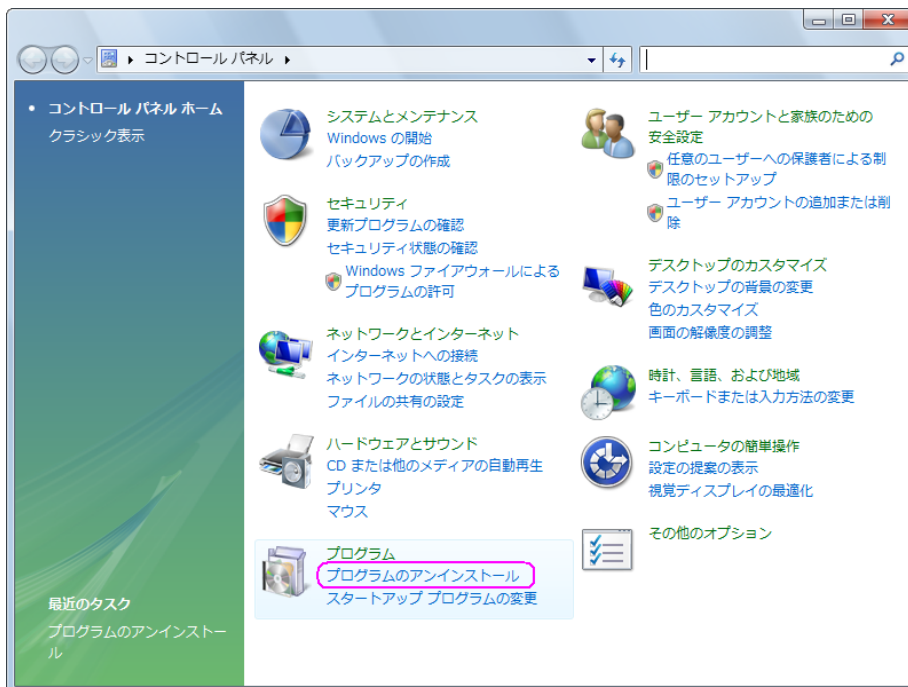
Windows Vista をお使いの場合、 [スタート] - [コントロールパネル] をクリックしてください。



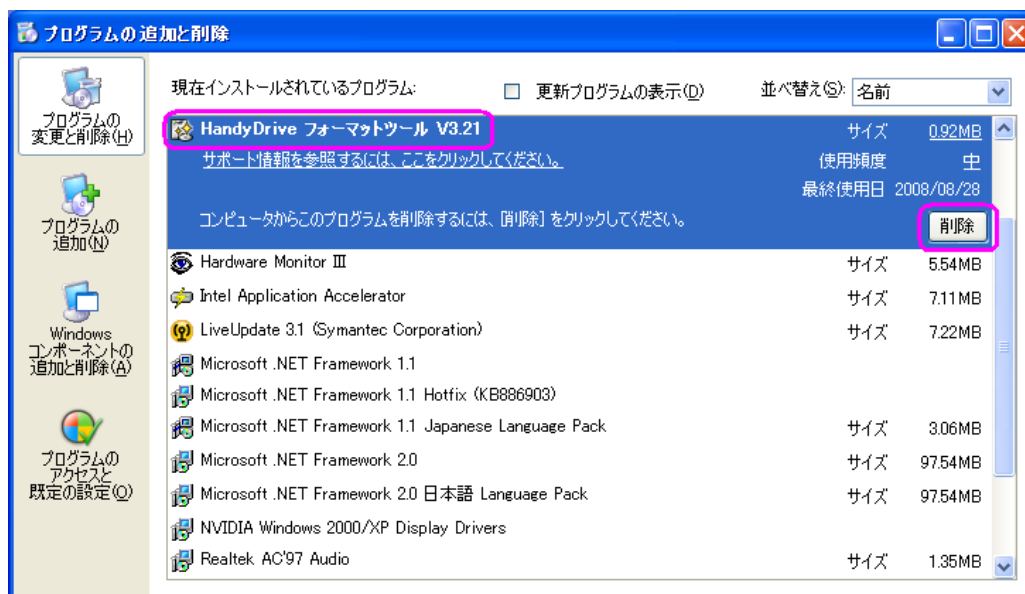
(3) [プログラムの追加と削除] (または [アプリケーションの追加と削除]) を開いてください。



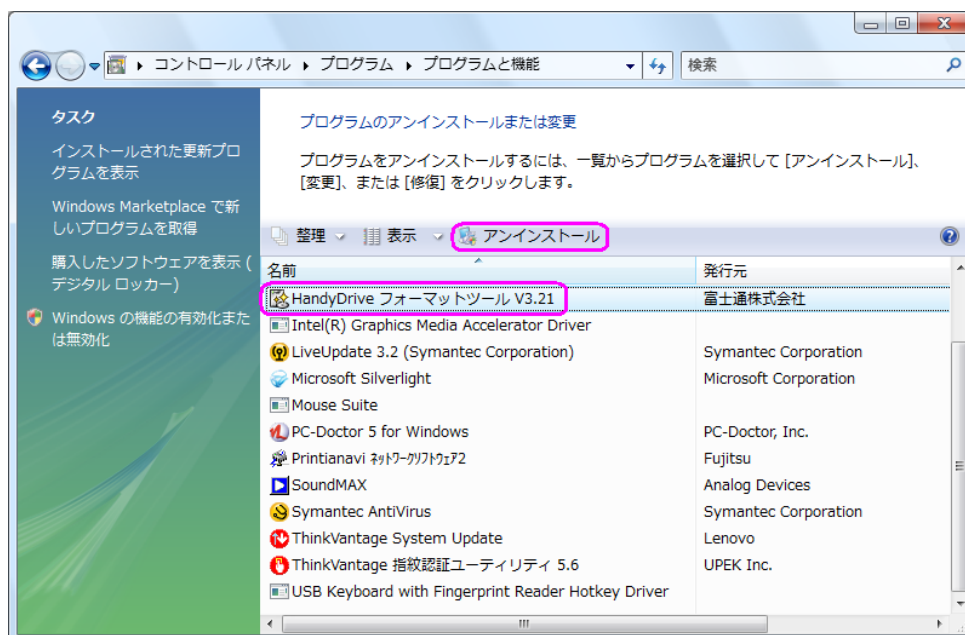
Windows Vista をお使いの場合、 [プログラムのアンインストール] を開いてください。



- (4) [HandyDrive フォーマットツール V3.21] を選択し、[削除] をクリックしてください。



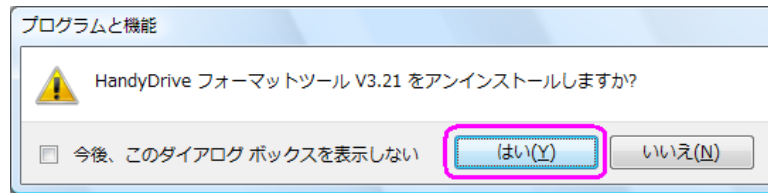
- Windows Vista をお使いの場合、[HandyDrive フォーマットツール V3.21] を選択し、[アンインストール] をクリックしてください。



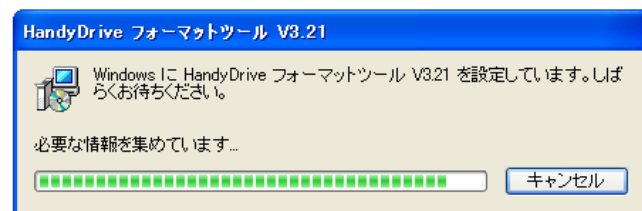
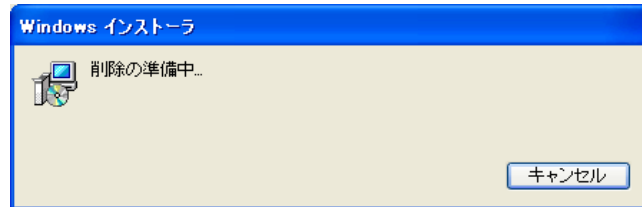
- (5) 「コンピュータから HandyDrive フォーマットツール V3.21 を削除しますか？」の画面が表示されますので、[はい(Y)] をクリックしてください。



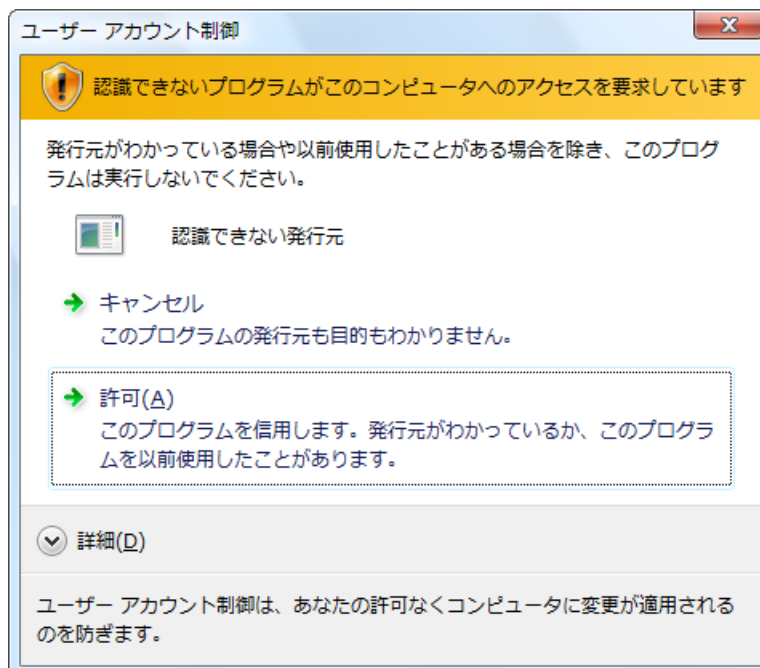
Windows Vista をお使いの場合、「HandyDrive フォーマットツール V3.21 をアンインストールしますか？」の画面が表示されますので、[はい(Y)] をクリックしてください。



(6) アンインストールが開始され、以下のような画面が順に表示されます。



※ Windows Vista、かつユーザーアカウント制御が有効である場合
以下の画面が表示されますので、[許可(A)] をクリックしてください。



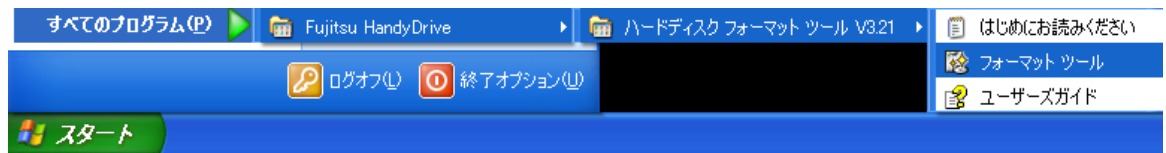
(7) 以上でアンインストールは完了です。

【2】使い方

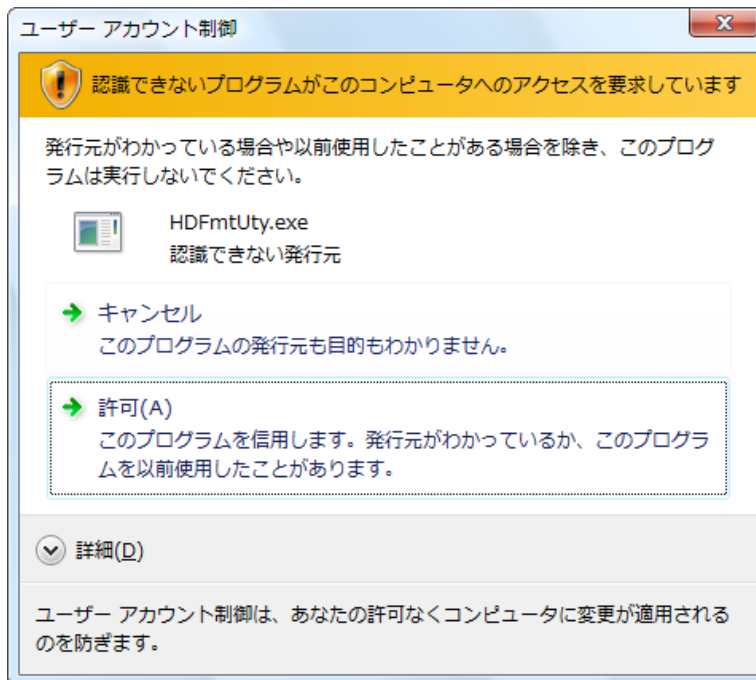
2.1 起動

本ソフトウェアは、以下の手順で起動してください。

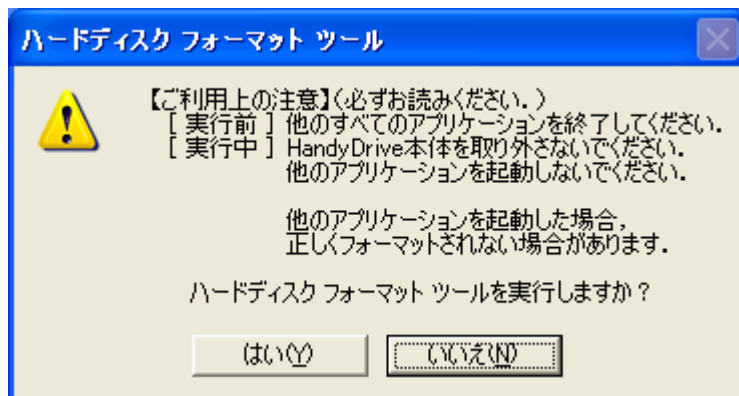
- (1) パソコンに HandyDrive を 1 台だけ接続してください。
- (2) [タスクバー] の [スタート] メニューをクリックしてください。
- (3) Windows XP/Vista の場合は [すべてのプログラム] メニューを、Windows98SE/Me/2000 の場合は [プログラム] をクリックしてください。
- (4) [Fujitsu HandyDrive] メニューをクリックしてください。
- (5) [ハードディスク フォーマット ツール V3.21] メニューをクリックしてください。
- (6) [フォーマット ツール] をクリックしてください。



- ※ Windows Vista、かつユーザーアカウント制御が有効である場合
以下の画面が表示されますので、[許可(A)] をクリックしてください。



- (7) 以下の画面が表示されましたら、内容をご確認の後、[はい(Y)] をクリックしてください。



- (8) 以下の起動画面が表示された後、本ソフトウェアが起動されます。



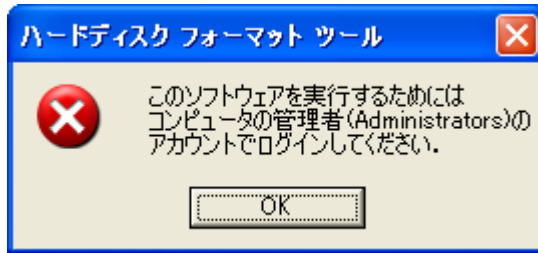
【ご注意ください】

- ・ HandyDrive が 1 台も接続されていない場合、または、2 台以上接続されていた場合には、以下のような画面が表示されます。



この場合には [OK] をクリックし、HandyDrive が 1 台だけ接続された状態としてから、本ソフトウェアを再起動してください。

- ・ Windows XP または Windows 2000 Professional でお使いの場合、管理者権限を持たないアカウントでログオンした場合には、以下のような画面が表示されます。



この場合には [OK] をクリックし、管理者権限を持つアカウントでログオンしなおした後に、本ソフトウェアを再起動してください。

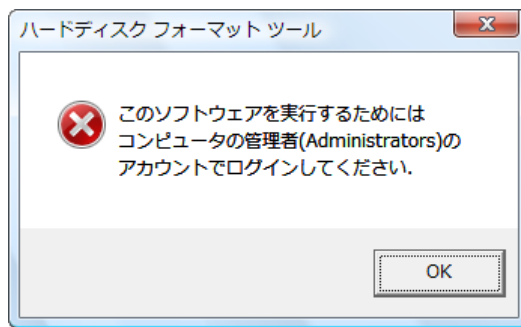
- ・ Windows Vista でお使いの場合、管理者権限を持たないアカウントでログオンした場合には、以下のような画面が表示されます。

※ ユーザーアカウント制御が有効である場合



この場合には、管理者権限を持つアカウントのパスワードを入力して [OK] をクリックすると、本ソフトウェアが起動されます。
パスワードが不明である場合は [キャンセル] をクリックし、管理者権限を持つアカウントでログオンしなおした後に、本ソフトウェアを再起動してください。

※ ユーザーアカウント制御が無効である場合



この場合には [OK] をクリックし、管理者権限を持つアカウントでログオンしなおした後に、本ソフトウェアを再起動してください。

2.2 メイン画面の説明

本ソフトウェアを起動すると、以下のようなメイン画面が表示されます。



- ① **[接続されている HandyDrive] および [全体容量]**
接続されている HandyDrive の名称と全体容量を表示します。
- ② **[パーティション]**
現在のパーティションの構成を表示します。
- ③ **[詳細]**
選択された (②において青で囲まれた) パーティションの詳細情報を表示します。
- ④ **[操作]**
選択された (②において青で囲まれた) パーティションについて、実行可能な操作などを表示します。
- ⑤ **[ヘルプ]**
マウスカーソルを置いた部分についての説明を表示します。
- ⑥ **[操作メニュー]**
選択された (②において青で囲まれた) パーティションに対し、各種の操作を行います。
(実行できない操作については、ボタンが無効となります)
 - ・ [出荷時の状態に戻す] の詳しい説明は 2.3 章をご覧ください
 - ・ [パーティションの削除] の詳しい説明は 2.4 章をご覧ください
 - ・ [論理フォーマット (FAT32)] の詳しい説明は 2.5 章をご覧ください
- ⑦ **[終了]**
本ソフトウェアを終了します。
[終了] の詳しい説明は 2.6 章をご覧ください。

※ パーティション情報が存在しない場合

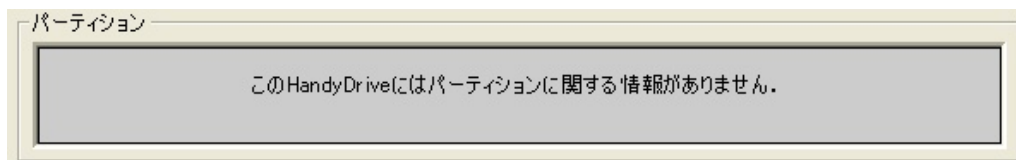
パーティション情報が存在しない場合、起動時に以下の画面が表示されます。



[はい(Y)] をクリックするとパーティション情報が初期化され、メイン画面のパーティションが以下の表示となりますので、[出荷時の状態に戻す] または [論理フォーマット (FAT32)] を実行してください。



[いいえ(N)] をクリックすると、メイン画面のパーティションが以下の表示となり、[出荷時の状態に戻す] のみが実行可能となります。

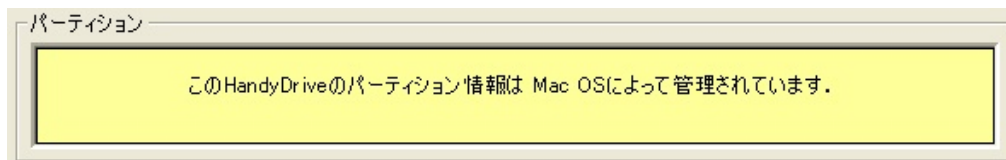


※ パーティションが Mac OS で管理されている場合

パーティションが Mac OS で管理されている場合、起動時に以下の画面が表示されます。



[OK] をクリックすると、メイン画面のパーティションが以下の表示となり、[出荷時の状態に戻す] のみが実行可能となります。



2.3 出荷時の状態に戻す

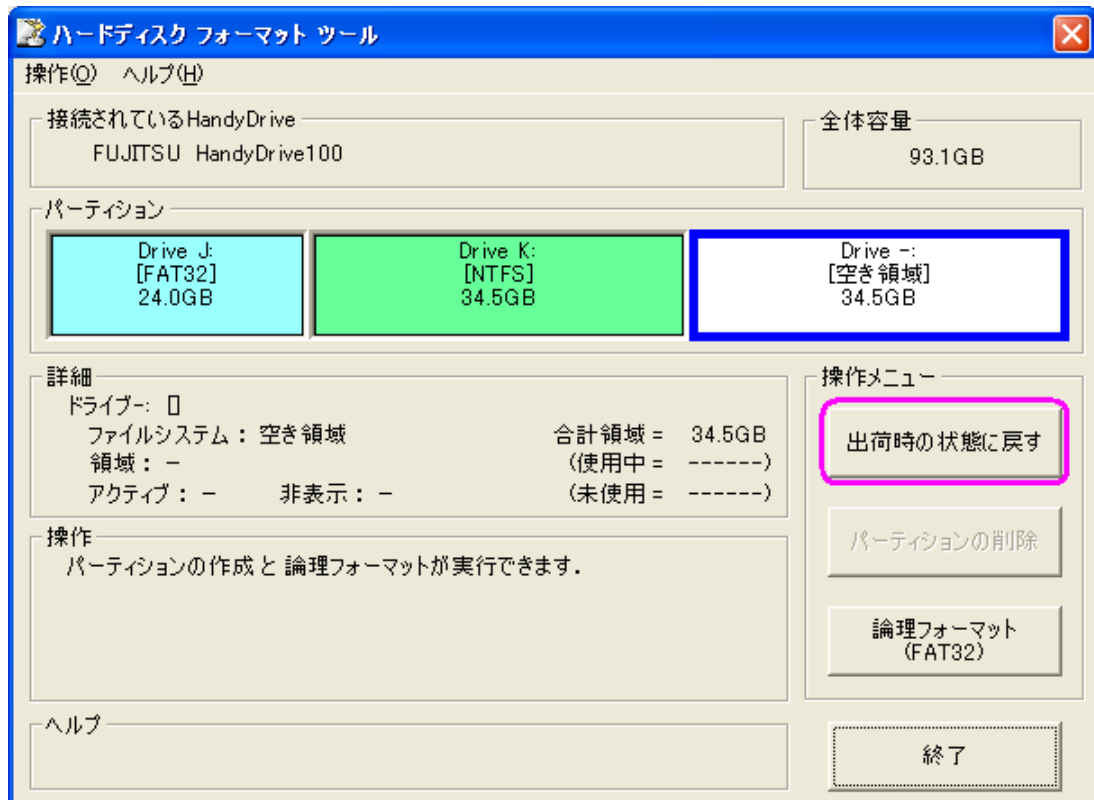
HandyDrive 中にあるパーティションを全て削除し、出荷時の状態と同じパーティション構成にします。

【ご注意ください】

- ・ この操作を行うと、HandyDrive 内のデータが全て消えてしまいます。
この操作を行う前に、データを全てバックアップしておくことをお勧めします。
- ・ HandyDrive を他の人に譲るような場合には、より確実にデータの消去を行うため、
[パーティションの削除] をご利用になることをお勧めします。

[出荷時の状態に戻す] は、以下の手順で実行してください。

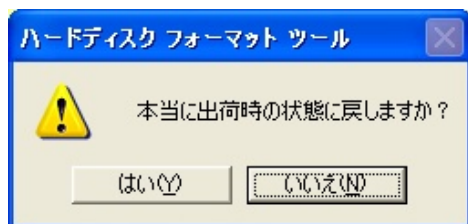
- (1) メイン画面の操作メニューより [出荷時の状態に戻す] をクリックしてください。



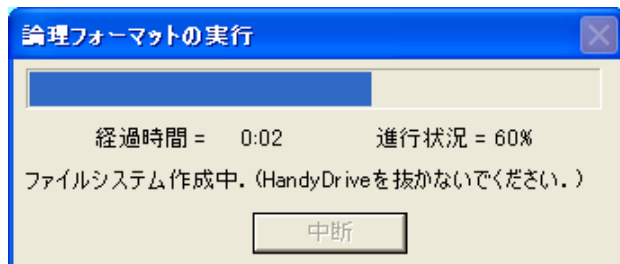
- (2) 以下の画面が表示されますので、[はい(Y)] をクリックしてください。



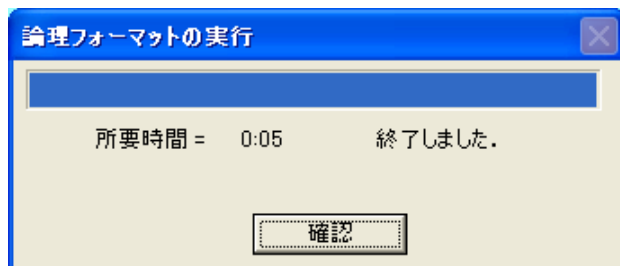
- (3) 次に以下の画面が表示されますので、[はい(Y)] をクリックしてください。



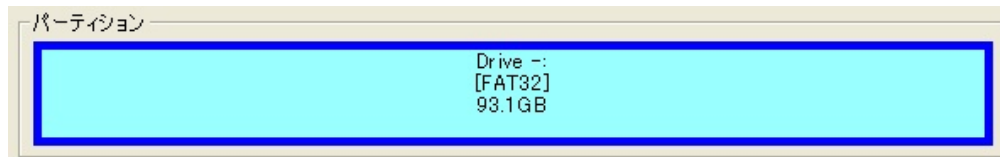
- (4) [出荷時の状態に戻す] 処理が開始され、以下の画面が表示されます。



- (5) [出荷時の状態に戻す] 処理が完了すると以下の画面が表示されますので、[確認] をクリックしてください。

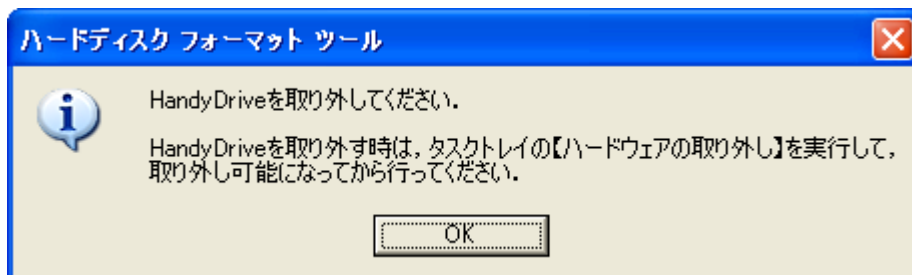


- (6) パーティションが出荷時の状態となり、メイン画面のパーティションが以下の表示となります。



※ 本ソフトウェアを終了する場合

[出荷時の状態に戻す] を行ってから本ソフトウェアを終了する場合、以下の画面が表示されます。



この場合には、HandyDrive を取り外して、[OK] をクリックしてください。
本ソフトウェアを終了する方法については 2.6 章をご覧ください。

2.4 パーティションの削除

最後（一番右）のパーティションを削除します。

それ以外の場所にあるパーティションを削除したい場合は、右端のパーティションから順に削除してください。

【ご注意ください】

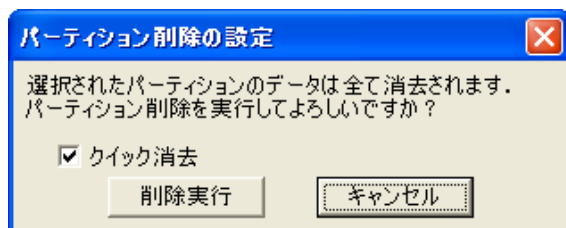
この操作を行うと、対象となるパーティション内のデータが全て消えてしまいます。
この操作を行う前に、データを全てバックアップしておくことをお勧めします。

[パーティションの削除] は、以下の手順で実行してください。

- (1) メイン画面のパーティションから最後のパーティションを選択し、操作メニューの[パーティションの削除] をクリックしてください。



- (2) 以下の画面が表示されますので、[削除実行] をクリックしてください。



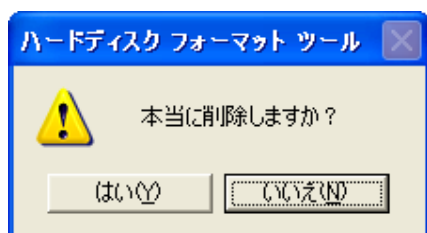
【クイック消去について】

[クイック消去] ではディスクからファイル情報のみを削除するため、高速でパーティションを削除することができます。

[クイック消去] のチェックを外した場合、より確実にデータを消去することができますが、容量によっては数時間かかることがあります。

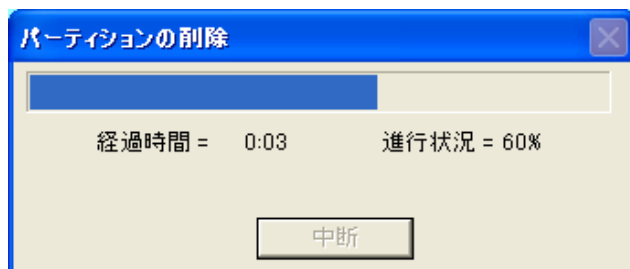
ノートパソコンでお使いの場合は、ノートパソコンに AC アダプターを接続してお使いになることをおすすめします。

- (3) 次に以下の画面が表示されますので、[はい(Y)] をクリックしてください。



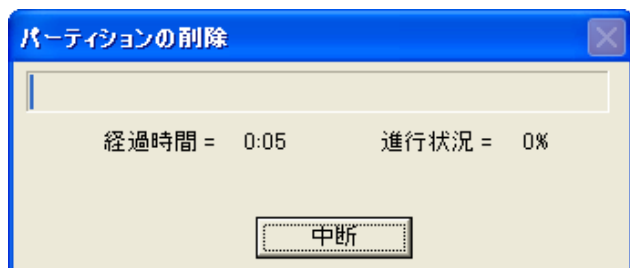
※ クイック消去のチェックを付けた場合

- (4) 以下の画面が表示された後、選択したパーティションが消去され、メイン画面のパーティションが更新されます。

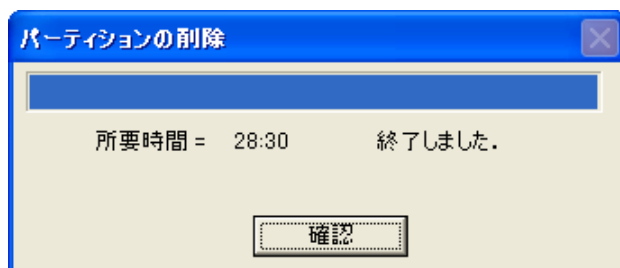


※ クイック消去のチェックを付けていない場合

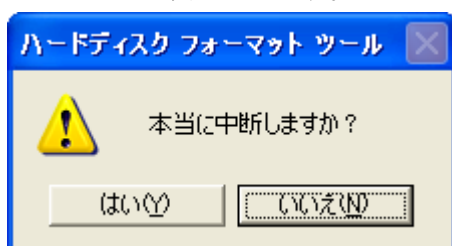
- (4) [パーティションの削除] 処理が開始され、以下の画面が表示されます。



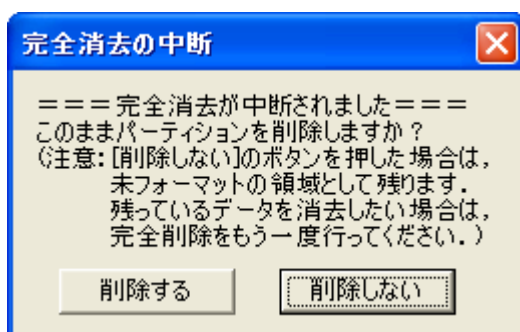
- (5) [パーティションの削除] 処理が完了すると以下の画面が表示されますので、[確認] をクリックしてください。



- (6) 選択したパーティションが消去され、メイン画面のパーティションが更新されます。
※ [パーティションの削除] の中断について
クイック消去のチェックを付けていない場合の手順 (4) において [中断] をクリックした場合、以下の画面が表示されます。



この画面で [いいえ (N)] をクリックすると、[パーティションの削除] を再開します。
また、[はい (Y)] をクリックすると、以下の画面が表示されます。

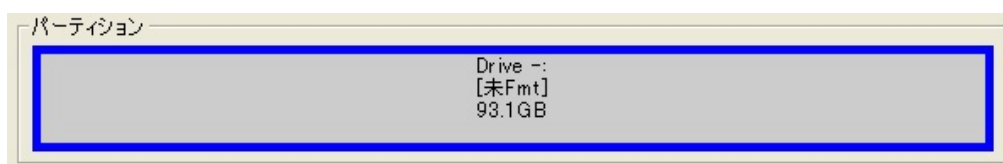


この画面で [削除する] をクリックすると、パーティションはクイック消去モードで削除され、メイン画面で選択したパーティションが[空き領域] の状態となります。



(上図は HandyDrive 全体を 1つのパーティションとした場合の例です)

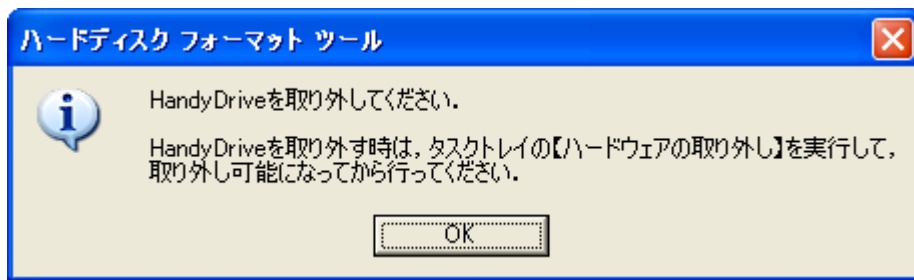
また、[削除しない] をクリックすると、メイン画面で選択したパーティションが[未フォーマット] の状態となります。



(上図は HandyDrive 全体を 1つのパーティションとした場合の例です)

※ **本ソフトウェアを終了する場合**

[パーティションの削除] を行ってから本ソフトウェアを終了する場合、以下の画面が表示されます。



この場合には、HandyDrive を取り外して、[OK] をクリックしてください。
本ソフトウェアを終了する方法については 2.6 章をご覧ください。

2.5 論理フォーマット (FAT32)

選択したパーティションの種類によって、以下のような処理を行います。

- ・ 空き領域を選択した場合 : 新しいパーティションの作成 と フォーマット
- ・ 既存領域を選択した場合 : パーティションの再フォーマット

【ご注意ください】

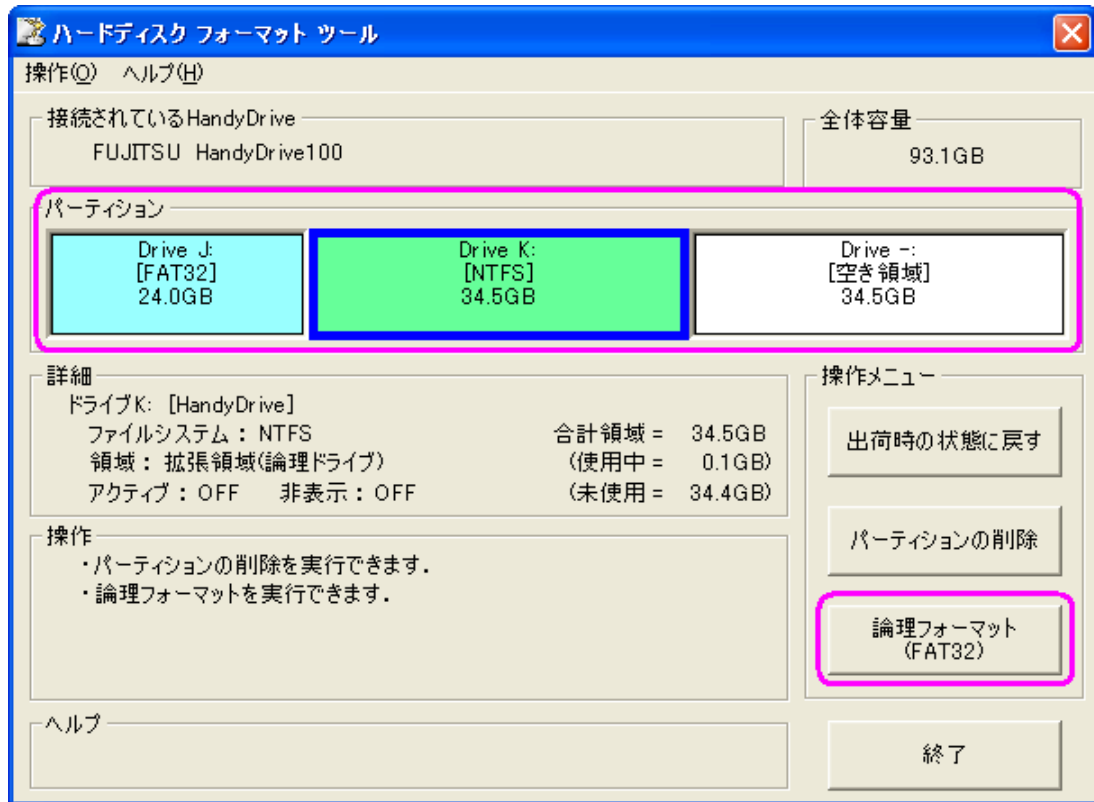
- ・ 本ソフトウェア以外のソフトウェアを用いてパーティション構成を操作した場合、フォーマットを実行できない場合があります。詳しくは「【4】お困りの場合」をご覧ください。
- ・ この操作を行うと、対象となるパーティション内のデータが全て消えてしまいます。この操作を行う前に、データを全てバックアップしておくことをお勧めします。

[論理フォーマット (FAT32)] は、以下の手順で実行してください。

- (1) メイン画面のパーティションから対象パーティションを選択し、操作メニューの [論理フォーマット (FAT32)] をクリックしてください。
※ パーティションとして [空き領域] を選択した場合

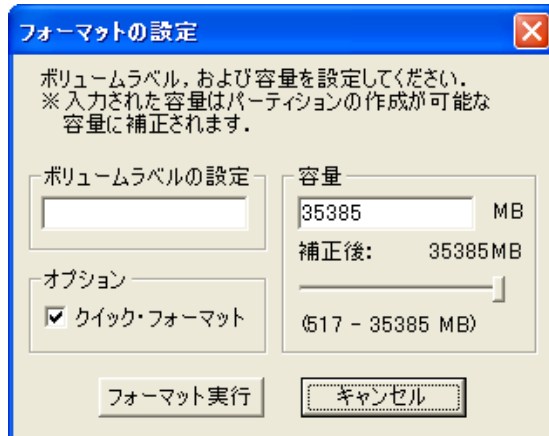


※ パーティションとして [既存領域] を選択した場合

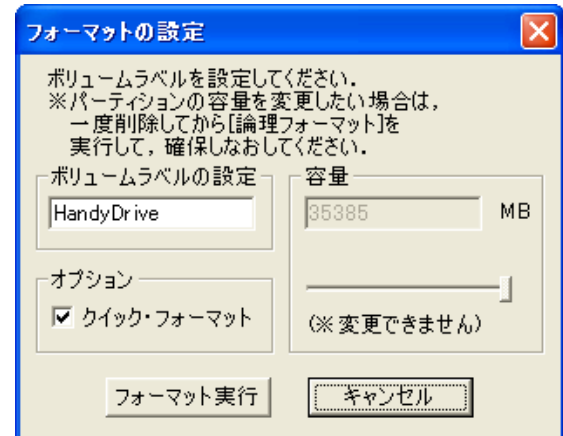


- (2) 以下の画面が表示されますので、「ボリュームラベル」「容量」「クイック・フォーマット」の設定を行った後、[フォーマット実行] をクリックしてください。

※ [空き領域] を選択した場合



※ [既存領域] を選択した場合



※ [空き領域] を選択した場合

「ボリュームラベル」「容量」「クイック・フォーマット」が設定できます。
「ボリュームラベル」は空白のままでもかまいません。

※ [既存領域] を選択した場合

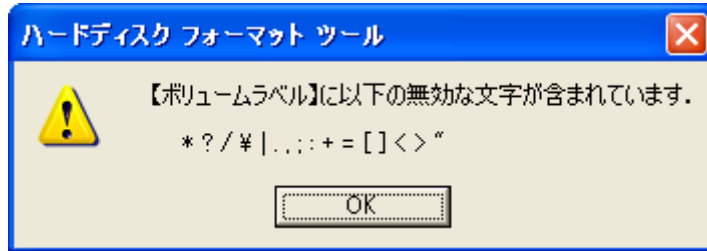
「ボリュームラベル」「クイック・フォーマット」が設定できます。
「ボリュームラベル」には現在設定されている内容が表示されます。
ボリュームラベルを変更しない場合は、設定し直す必要はありません。

【ボリュームラベルについて】

半角 11 文字まで設定できます。

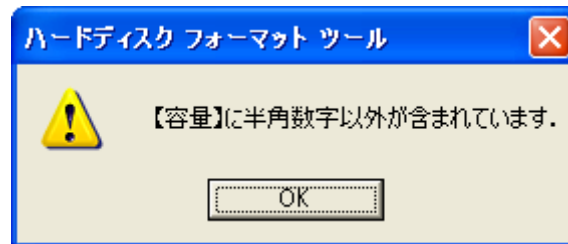
ただし、* ? / ¥ | . , ; : + = [] < > “ は設定できません。

これらの文字を設定した場合には以下のような画面が表示されますので、[OK] をクリックした後に正しいボリュームラベルを設定してください。



【容量について】

- ・ 手順(1)において [空き領域] を選択した場合にのみ設定できます。値は、直接入力 または スライダーによる指定ができます。値を直接入力した場合、実際に HandyDrive 上に設定される容量はおよそ 8 MB 単位であり、その値は「補正後」の部分に表示されます。
- ・ 手順(1)において [既存領域] を選択した場合、容量は設定できません。容量を変更したい場合には、一度 [パーティションの削除] を実行してください。
- ・ 容量値の指定は、半角数字のみ設定できます。半角数字以外の文字を設定した場合には以下のような画面が表示されますので、[OK] をクリックした後に正しい値を設定してください。



【クイック・フォーマットについて】

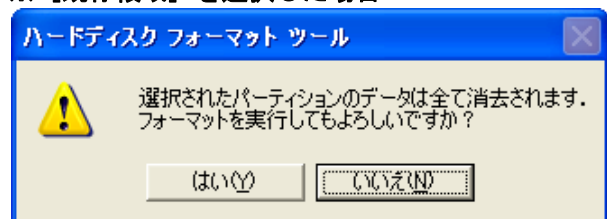
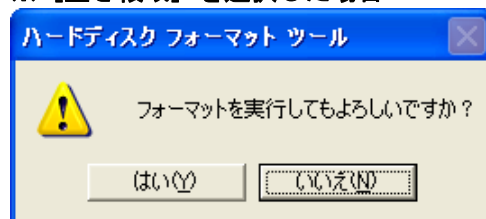
ディスクからファイルを削除しますが、不良セクタを見つけるためにディスクをスキャンしないため、高速でフォーマットを実行することができます。

[クイック・フォーマット] のチェックを外した場合、不良セクタのスキャンを実行することができますが、容量によっては数時間かかることがあります。

- (3) 以下の画面が表示されますので、[はい(Y)] をクリックしてください。

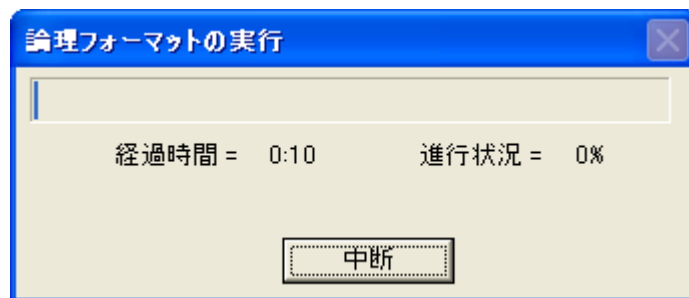
※ [空き領域] を選択した場合

※ [既存領域] を選択した場合



- (4) [論理フォーマット (FAT32)] 処理が開始され、以下の画面が表示されます。

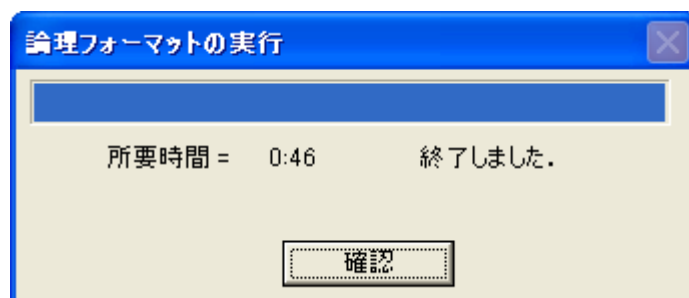
※ クイック・フォーマットのチェックを付けていない場合



※ クイック・フォーマットのチェックを付けた場合



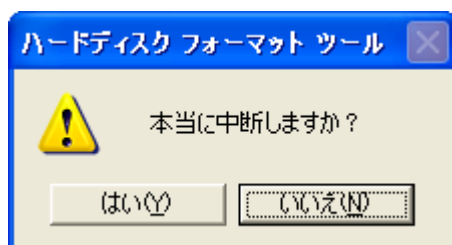
- (5) [論理フォーマット (FAT32)] 処理が完了すると以下の画面が表示されますので、[確認] をクリックしてください。



- (6) 選択したパーティションがフォーマットされ、メイン画面のパーティションが更新されます。

※ [論理フォーマット (FAT32)] の中断について

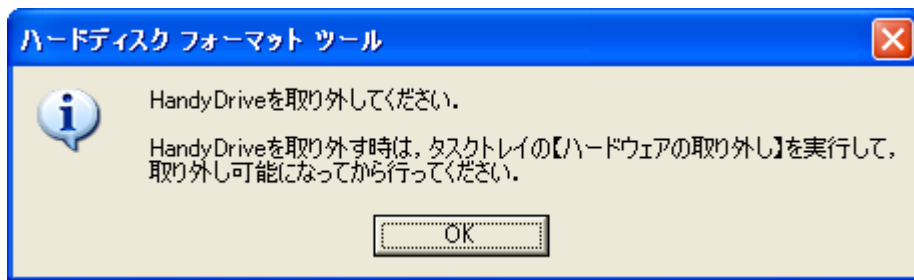
クイック・フォーマットのチェックを付けていない場合の手順(4)において [中断] をクリックした場合、以下の画面が表示されます。



この画面で [いいえ (N)] をクリックすると、[論理フォーマット (FAT32)] を再開します。また、[はい (Y)] をクリックすると、メイン画面で選択したパーティションが [未フォーマット] の状態となります。

※ 本ソフトウェアを終了する場合

[論理フォーマット (FAT32)] を行ってから本ソフトウェアを終了する場合、以下の画面が表示されます。



この場合には、HandyDrive を取り外して、[OK] をクリックしてください。
本ソフトウェアを終了する方法については 2.6 章をご覧ください。

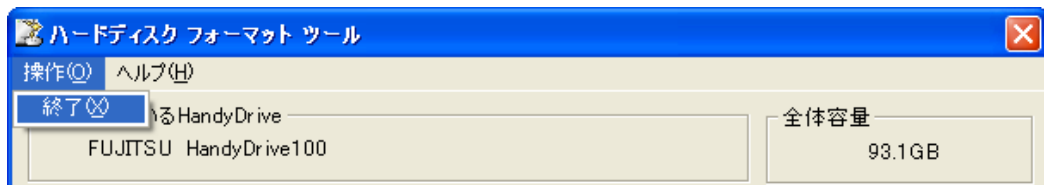
2.6 終了

(1) 以下のどちらかを行ってください。

- ・メイン画面の [終了] をクリックしてください。

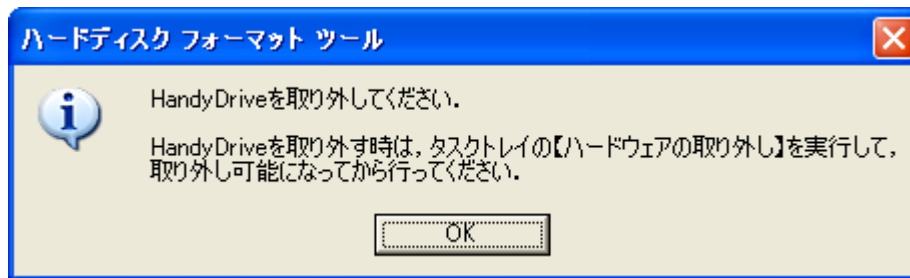


- ・メイン画面上部のメニューバーより、[操作] - [終了] をクリックしてください。



※ [出荷時の状態に戻す]、[パーティションの削除]、または [論理フォーマット (FAT32)] の操作を行った場合

- (2) 以下の画面が表示されますので、HandyDrive を取り外してください。
取り外し方法については、クイックスタートガイドを参照してください。

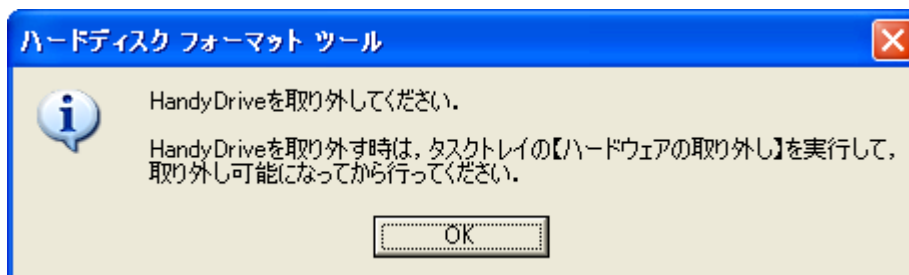


- (3) [OK] をクリックしてください。

※ [出荷時の状態に戻す]、[パーティションの削除]、または [論理フォーマット (FAT32)] の操作を行っていない場合、手順(2)の画面は表示されずに終了します。

【ご注意ください】

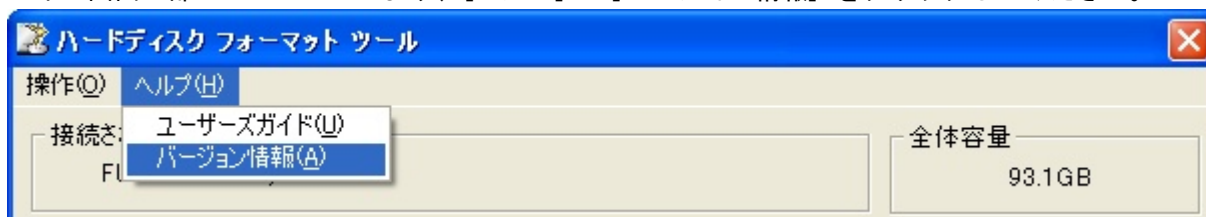
手順(2)で HandyDrive を取り外さずに [OK] をクリックした場合には再び以下の画面が表示されます。



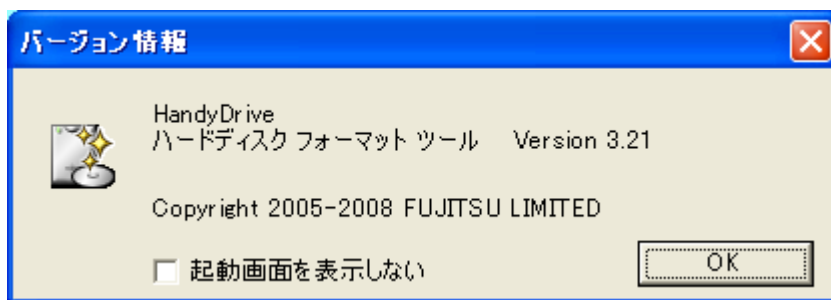
この場合には HandyDrive を取り外して、[OK] をクリックしてください。

2.7 バージョン情報の表示

メイン画面上部のメニューバーより、[ヘルプ] - [バージョン情報] をクリックしてください。



以下のようなバージョン情報が表示されます。



[OK] をクリックすると、この画面を閉じてメイン画面に戻ります。

[起動画面を表示しない] にチェックを付けると、起動時に以下の画面を表示しません。

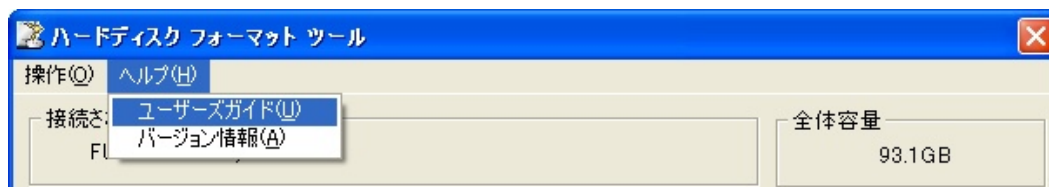


2.8 ユーザーズガイドの表示

本ソフトウェアのユーザーズガイドは、以下の方法で表示できます。

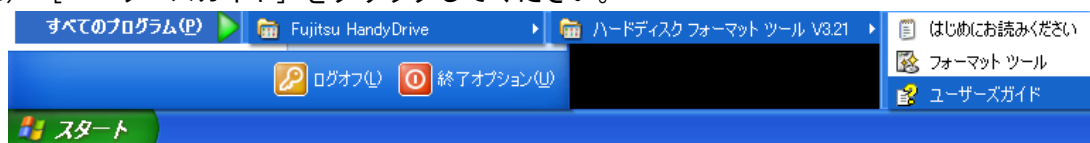
・本ソフトウェアから表示する場合

メイン画面上部のメニューバーより、[ヘルプ] - [ユーザーズガイド] をクリックしてください。



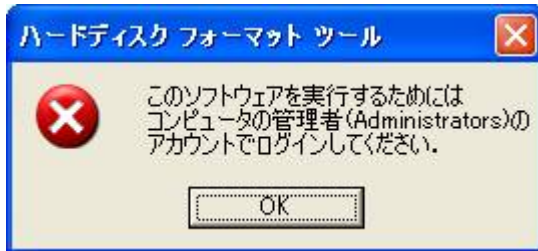
・スタートメニューから表示する場合

- (1) [タスクバー] の [スタート] メニューをクリックしてください。
- (2) Windows XP/Vista の場合は [すべてのプログラム] メニューを、Windows98SE/Me/2000 の場合は [プログラム] をクリックしてください。
- (3) [Fujitsu HandyDrive] メニューをクリックしてください。
- (4) [ハードディスク フォーマット ツール V3.21] メニューをクリックしてください。
- (5) [ユーザーズガイド] をクリックしてください。



【3】 注意事項 および 制限事項

- ・ 本ソフトウェアは、パソコンに HandyDrive が 1 台だけ接続された状態でのみご使用いただけます。 HandyDrive が接続されていない場合や、2 台以上接続されている場合にはご使用いただけません。
- ・ ご使用になる前に他のすべてのアプリケーションを終了してください。
また、ご使用中は他のアプリケーションを起動しないでください。
- ・ フォーマット中にシャットダウンを実行すると、ディスクの内容が破壊されることがあります。
絶対に行わないでください。
- ・ フォーマット中に本ソフトウェアを強制終了すると、ディスクの内容が破壊されることがあります。絶対に行わないでください。
- ・ 本ソフトウェア使用中は、HandyDrive を接続したり取り外したりしないでください。
- ・ 本ソフトウェアを Windows XP または Windows 2000 Professional でお使いの場合、
管理者権限を持つアカウントでログオンしてください。
管理者権限を持たないアカウントでログオンしている場合には、起動時に以下の画面が表示されます。

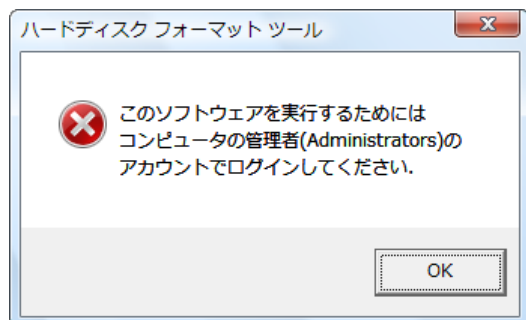


- ・本ソフトウェアを Windows Vista でお使いの場合、管理者権限を持つアカウントでログオンしてください。
管理者権限を持たないアカウントでログオンしている場合には、起動時に以下の画面が表示されます。

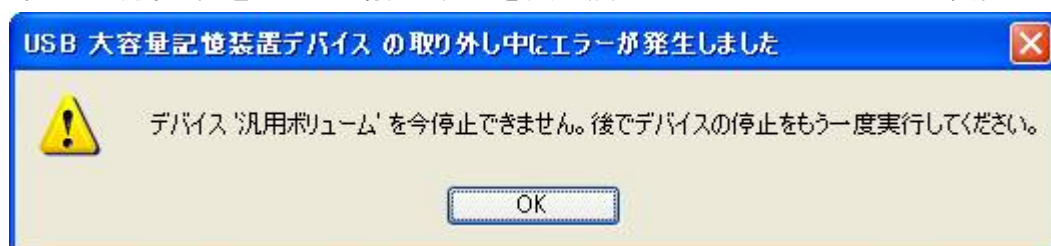
※ ユーザーアカウント制御が有効である場合



※ ユーザーアカウント制御が無効である場合



- ・本ソフトウェア使用後は HandyDrive を一度接続し直してください。
HandyDrive を接続し直す場合、タスクトレイの【ハードウェアの取り外し】を実行して、取り外し可能になってから HandyDrive を取り外した後に接続し直してください。
取り外し方法については、クイックスタートガイドを参照してください。
- ・本ソフトウェア使用後にハードウェアの取り外しを行った場合、次のエラーメッセージが表示されて取り外しができない場合があります。
この場合、まず他のアプリケーションが使用していないか確認してください。
それでも現象が回避できない場合は、OS を再起動することで正常に取り外しが実行できます。



- ・ 本ソフトウェアをご使用になる前に、パソコンがスタンバイや休止状態にならないようにしてください。
また、本ソフトウェアご使用中にスタンバイや休止状態を実行しないでください。
本ソフトウェアご使用中にスタンバイや休止状態になると、ディスクの内容が破壊されることがあります。
- ・ 機能によっては処理に長い時間がかかるものがあります。
ノートパソコンでお使いの場合は、処理の途中で電池不足が生じないように、ノートパソコンに AC アダプターを接続してお使いください。
- ・ 本ソフトウェアで作成可能なパーティション数は最大 8 個です。

【4】お困りの場合

4.1 動作について

本ソフトウェアに表示される全体容量が外箱に書かれている容量より少ないのですが？

これは、計算方法の違いによるものです。一般的には

$1\text{GB} = 1000\text{MB} = 1000 \times 1000\text{KB} = 1000 \times 1000 \times 1000\text{Byte}$

として計算しますが、Windows では

$1\text{GB} = 1024\text{MB} = 1024 \times 1024\text{KB} = 1024 \times 1024 \times 1024\text{Byte}$

として計算しております。

本ソフトウェアでは、Windows と同じ計算方法を用いているため、誤差が生じます。

例えば 100GB を FAT32、1 パーティションで使用した場合、Windows 上では 93.1GB となります。

フォーマットを行った直後に、パーティションに使用中の領域があるのですが？

フォーマットを行った直後のパーティションには、ファイルやフォルダを管理するための管理データ（ファイルシステム）が書き込まれるためです。

フォーマットが実行できないのですが？

本ソフトウェア以外のソフトウェアや Windows の管理ツールなどでパーティション操作した場合、パーティションを指定しても「論理フォーマット」が実行できない場合があります。実際に「論理フォーマット」が実行できない条件と回避方法は以下のとおりです。

- ・ **基本領域が 4 つ存在している状態で空き領域を選択した場合**
基本領域を 1 つ削除すればパーティションを作成できます。
- ・ **512MB 以下のパーティションまたは空き領域を選択した場合**
 - 別の 512MB 以上の空き領域を選択してください。
 - 既存のパーティションを削除し、十分な空き領域を確保してください。
- ・ **選択した空き領域と既存の拡張領域（論理ドライブ）との間に基本領域が存在する場合**
拡張領域との間にある基本領域を全て削除してください。

4.2 用語集

【アクティブ】とは何ですか？

そのパーティションが Windows の起動ドライブとなるかどうかを示す情報です。アクティブ=ON の場合、そのパーティションから Windows を起動します。通常、パソコンに内蔵されているハードディスクの基本領域をアクティブとし、HardyDrive 内の全てのパーティションはアクティブ=OFF となります。

【基本領域】、【拡張領域】、【論理ドライブ】とは何ですか？

「基本領域」「拡張領域」は、それぞれパーティションの種類です。基本領域はハードディスク上に最大4つまで作成できますが、通常は1つだけしか作成しません。論理ドライブは、拡張領域をさらに細かい単位に分割したもので、1つの拡張領域の中にいくつでも作成することができます。

【パーティション】とは何ですか？

ハードディスクを論理的に複数に分けてできた部分または領域のことです。ハードディスクを複数のパーティションに分割することによって、1台のハードディスクを複数のドライブとして利用できるようになります。

【非表示】とは何ですか？

そのパーティションがマイコンピュータから見えるかどうかを示す情報です。非表示=ON の場合、そのパーティションはマイコンピュータ上に表示されません。

【ファイルシステム】とは何ですか？

ファイルの名前付け、格納、編成の方式を管理する全体的な構造のことです。「FAT16」「FAT32」「NTFS」などの種類があり、Windows をインストールするときやハードディスクをフォーマットするときなどに選択します。

【フォーマット】とは何ですか？

ハードディスクやフロッピディスクなどにデータの読み書きができるようにする操作です。フォーマットを行うと、記録されていたデータはすべて消えてしまいます。

【5】ご使用にあたって

5.1 使用許諾条件

本ソフトウェアの使用にあたっては、下記の使用条件をお守りください。
この使用条件に同意いただけない場合には、本ソフトウェアを利用できません。

- ・ ユーザーズガイドの内容の一部または全部を無断で転載することを禁止します。
- ・ 本ソフトウェアの再配布はできません。
- ・ 本ソフトウェアの一部または全てを当社の許可無く変更することはできません。
- ・ 本ソフトウェアを改造したり、あるいは逆コンパイル、逆アセンブルなどを伴うリバースエンジニアリングを行うことはできません。
- ・ 本ソフトウェアに関するいかなる著作権表記も変更できません。
- ・ 本ソフトウェアを使用した結果、損害が発生しても当社は責任を負いません。
- ・ ユーザーズガイドで説明する機能や制限事項は予告なしに変更される場合があります。
あらかじめご了承ください。

5.2 「ハイセイフティ用途」について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。

お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。また、お客さまがハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生した損害に対して、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

5.3 表記について

表記について

- ・ Microsoft、Windows および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標もしくは登録商標です。
- ・ その他の記載されている会社名や製品名は各社の商標もしくは登録商標です。